

中高一貫だより

＜編集・発行＞
えりも地区連携型
中高一貫教育
推進委員会事務局

環境教育フィールド学習B～高校での取組～

9月18日(水)、中高一貫教育カリキュラムの一つである「百人浜フィールド学習B」を行いました。この事業は、国が1953(昭和28)年から行っている百人浜治山緑化事業を、2006(平成18)年から中高一貫の郷土学習・環境教育に取り入れ実施しているものです。6月に中学生が植樹、9月に高校生が枝打ちすることで、さらなる緑化と先人が守ってきた森林の保全に取り組んでいます。

はじめに、えりも岬林業研修センターにて開講式が行われ、えりも町教育委員会教育長 川上松美 様、および日高南部森林管理署 総括治山技術官 鎌倉健嗣 様から、生徒に向けて御挨拶と激励をいただきました。その後、日高南部森林管理署・えりも治山事業所の瓜田元美 様 から、枝を落とすことによって、光が入り、光合成がしやすくなることや、風通しが良くなり、樹木が大きく成長できることなど、枝打ちの理由を詳しく説明していただきました。



開講式終了後、バスに乗りまして生徒が中学時代(2年前)に植樹した場所に行き、成長を確かめました。自分が植樹したことがわかるように、プレートがついています。植えた場所は日光が良く入る場所であったため、樹が高く成長していました。自分の名前を見つけて、歓喜の声が上がりました。



その後、百人浜駐車場近くの枝打ち箇所へ移動して、枝打ち作業を約50分間実施しました。自分の背の高さくらいまでの枝を切り落とすことで、通気を良くし、土壌に光を当てて、木がより丈夫に成長できるようにしていきます。太い枝にもチャレンジする生徒もいました。



最後に1年生全員で記念撮影をしました。その後、鎌倉健嗣 様から、生徒全員に記念品をいただきました。今年度も枝打ち作業を通して、先人たちから続くえりもの治山事業に、地元の高校生が関わることができました。指導御協力いただきました日高南部森林管理署、ひだか南森林組合の皆様、援助いただきましたえりも町役場産業振興課、えりも町教育委員会の皆様へ、改めて御礼申し上げます。



百人浜事業を終えて・・・生徒のレポートより

1年A組 野阪 洸介

木の枝を切る作業は初めてのことで、最初はよく分からなかったけど、やっていく中で少しずつ理解していき、少しスッキリした木を見てやってよかったと思いました。

今回の作業の結果はすぐには表れないと言われて、僕たち自身あまり実感できなかったけど、今後のえりもの緑が豊かになっていけたらいいと思いました。

今回の経験はとても貴重なもので、中々行えるものではないので、この経験を今後の生活の中で生かしていけたらいいと思いました。

最後に、森は人に、人は森に支えられながら、互いに生きているんだということを実感することができました。

1年A組 菱沼 雄斗

中学生の時に、カミネッコンを作って、実際にクロマツを植え、森づくりを体験し、2年～3年経って植えたクロマツを見に行ったら、自分が思っていたより、クロマツが成長していて嬉しかったし、枯れていなくて安心した。

木の枝を切り落とす作業を始めて体験した。疲れたけど、枝落としをしないとクロマツの木が成長しにくくなるから、とても大切な作業だという事がわかった。自分たちの手で自分たちの首をしめる事があるから、気をつけて行動し、これらの事を次の世代にも受け継がれていけばいいと感じた。

1年B組 越後 七海

今回の枝打ちを通して、木を育てるということは、いくつかの作業をすることが必要なのだと学ぶことができた。自分が体験した枝落としという作業は、枝を切ることによって、陽が入りやすくなるなどの効果があるということがわかった。

この木を育てるという作業は、何年、何十年という時間が必要なので、すごく大変なことだと思った。木を育てるということに対して、木が育ちやすい環境にしても、すぐには効果が出ず、何年後かに効果が出てくることを知ることができた。

自分はあまり林業というものに興味がなかったが、今回の授業を通して気になることがあったので、知りたいということが増え、自分もこれから木を育てることに協力できたらいいなと思った。

1年B組 神田 颯太

砂漠化した大地が再び木々の生えた森林に戻ったことがすごいことだと思った。実際に森林に入ってみて本当にここが昔、砂漠だったのかというくらい木々が生い茂っていてびっくりした。

2年前、中学生の時に植えたカミネッコンの観察をして、自分の木が大きく成長しているのが見れて良かった。今回の活動を通して、枝落としをする目的を学ぶことができた。枝が伸びてきて邪魔なだけだと思っていたが、枝が伸びると、他の木々の成長を妨げたり、陽が入ってこなくなるということがわかった。

えりもの海はとても豊かで、海産物がたくさんとれるし、質も良いから、この環境を保つためにも、木を植え、世話をし、海が今の状態を保てるように活動に参加していきたい。